



国営みちのく杜の湖畔公園
Michinoku Lakewood N.G.P

NEWS
RELEASE

「園内IoT電動カート」の走行実験始動 ～最新モビリティの活用を検討します～

国営みちのく杜の湖畔公園では、「IoT電動カート」の走行実験を行います。
広い公園内の新たな移動手段として、モビリティの可能性を検討するもので、みちのく公園では、初の開催となります。電動カートは、コンパクトで小回りがきき、高齢者の移動手段の確保や子どもの来園の動機付けを期待しています。
この試みは、当事務所が、地方自治体や他分野の民間団体等と構成している「地域活性化推進協議会」として実施するものです。

1. 概要

日時	平成30年6月22日(金)
時間	13:45 概要説明・事例紹介 14:30 園内走行実験 16:00 終了(予定)
場所	国営みちのく杜の湖畔公園南地区
内容	別紙のとおり
主催	地域活性化推進協議会
協力	ヤマハモーターパワープロダクツ(株)



7人乗りカート

＜資料配信先＞

宮城県政記者会・東北電力記者会・東北専門記者会・白石記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所

担当 調査設計課長 し ぶ や すずむ 洪谷 奨 Tel 0224-84-6211(代)

URL <http://www.thr.mlit.go.jp/m-park/>

名称：みちのく公園IoT 電動カート走行調査

日時：平成30年6月22日（金）午後13時45分～16時00分〈予定〉

会場：南地区湖畔の広場外周囲路等

- 調査：1.南地区走行可能園路
2.ガイド案内ポイント
3.複数台縦列走行



＜凡例＞
試走コース： ——

〈別紙〉地域活性化推進協議会

1. 協議会の目的と主旨

地域活性化推進協議会は、仙台西部地域のよりいっそうの地域活性化を目指して勉強・企画立案し、具体的な取り組みを指向することを目的として設立した任意の組織です。

(設立：平成29年12月)

点在する地域観光資源の有効活用に向けて、当該地域に根ざす民間企業と公共の機関が主体的活性化への道を切り拓くために柔軟に連携することで、観光資源の有効活用や多面的な活用を訴求することで観光客増加や人の対流の活発化につながり、ひいては地域の付加価値化が大いに期待出来るとして諸取り組みの検討・実践を目指していきます。

2. 同協議会の構成者

〈主な構成員〉

(株)タケヤ交通	秋保温泉旅館組合
(株)情翔	(株)JTB
仙台国際空港(株)	(株)エフエム仙台
NECソリューションイノベータ(株)	
(株)ファイバーゲート	(株)NTTドコモ 東北支社
(株)農協観光 宮城支店	全日本空輸(株)
沖縄ツーリスト(株)仙台支店	(株)ジューシーオレンジ
川崎町	公益社団法人 宮城県観光連盟

〈オブザーバー〉

国土交通省 東北地方整備局 東北国営公園事務所
宮城県経済局商工観光部観光課
仙台市文化観光局観光交流部
一般財団法人 公園財団みちのく公園管理センター
公益財団法人 仙台観光国際協会

(順不同、敬称略)